

まえがき

横浜市では昭和48年度からほぼ3年ごとに、市内の川や海に生息する生物を調査してその結果を公表してまいりました。これは市内の水域の水質をはじめ、総合的な水環境の水準を評価すること、また、生物の現状や変遷を示すことで、多くの市民の方々に川や海への関心を高めていただくことを目的としております。

今回は第10回目にあたり、平成14年度に行った海域の魚類調査と平成15年度に行った魚類以外の調査を本報告書として取りまとめたものです。

調査にあたっては、各分野の専門家の先生方をメンバーとする「横浜市内水域生物相調査会」と横浜市環境科学研究所により行われました。

横浜市は「横浜市環境管理計画」の中に、「自然とふれあえるうるおいとやすらぎのある都市」を目指すべき都市環境像として掲げています。さらに、良好な水環境を保全・創造するため「横浜市水環境計画」を平成6年3月に策定し、水域ごとに指標生物等をはじめとした水環境目標を掲げ各種の施策を推進しているところです。

本報告書が水質の改善や生物多様性の考え方を基本にした水環境の保全・復元に係わる取り組みを推進するための基礎資料として、おおいに活用していただければ幸いです。

また調査の実施にあたって御協力いただいた「横浜市内水域生物相調査会」の先生方に謝意を表します。

平成17年2月

環境保全局長 小野耕一

横浜市内水域生物相調査会構成メンバー

氏名	所属	調査項目
鳥海三郎 (代表)	社団法人 観音崎自然博物館	海域のプランクトン
金田彰二 (会計)	日本工学院専門学校 環境科学科	河川域の底生動物
村上雄秀	財団法人 国際生態学センター	河川植生、沈水植物
岩下 誠	社団法人 日本水産資源保護協会	海域の魚類
長坂 裕	千代田海洋科学ビジネス専門学校	海域の魚類
今泉和樹	千代田海洋科学ビジネス専門学校	海域の魚類
今福智仁	千代田海洋科学ビジネス専門学校	海域の魚類
井本昌臣	千代田海洋科学ビジネス専門学校	海域の魚類
秋本 泰	財団法人 海洋生物環境研究所中央研究所	海域の底生動物
木村正吾	社団法人 観音崎自然博物館	海岸動物
田中次郎	東京海洋大学大学院海洋技術研究科	海藻(草)、汽水藻類 海産付着珪藻
高橋昭善	東京海洋大学大学院海洋技術研究科	海藻(草)、汽水藻類
長谷川和清	東京海洋大学大学院水産学研究科	海藻(草)、汽水藻類
小林 敦	東京海洋大学海洋環境学科	海産付着珪藻
井上 勲	筑波大学 生命環境	海産微細藻類
雪吹直史	筑波大学 生命環境	海産微細藻類
甲斐 厚	筑波大学 生命環境	海産微細藻類
池上陽子	筑波大学 生命環境	海産微細藻類
千國友子	筑波大学 生命環境	海産微細藻類
行方善章	筑波大学 生命環境	海産微細藻類
秦千夏子	筑波大学 生命環境	海産微細藻類
吉田昌樹	筑波大学 生命環境	海産微細藻類
中山 剛	筑波大学 生命環境	海産微細藻類
井上 勲	筑波大学 生命環境	海産微細藻類

注) : 表紙の写真は、筑波大学より提供していただいた。
所属は、原則として、原稿執筆の時とした。

目 次

第一部 横浜市海域における生物相調査概要

I 調査項目及び調査方法	1
II 横浜市沿岸域の海の概況	4
III 海域の生物相調査結果の概要	7
IV 生物指標から見た水質汚濁状況	10
V 水環境目標の水域区分ごとの達成状況	16

第二部 生物調査結果

1 横浜市沿岸域の魚類相調査 2002 年度 (岩下 誠、長坂 裕、今泉和樹 魚類相及び漁獲情報の経年変化 今福智仁、井本昌臣)	17
2 横浜市沿岸域の海岸動物相 (木村正吾、河野えり子、樋口恵太)	53
3 横浜市沿岸域の底生動物 (2003 ~ 2004 年) (秋本 泰)	85
4 横浜市の海藻、海草および汽水藻 (長谷川清和、小林 敦、田中次郎)	121
5 横浜市 of 海産付着珪藻 (小林 敦、田中次郎)	137
6 横浜市沿岸域のプランクトン相調査 (鳥海三郎、水尾寛己)	145
7 横浜市沿岸域の海産微細藻類 (2003 ~ 2004 年) (雪吹直史、甲斐 厚、池上陽子 千國友子、行方善章、秦千夏子 吉田昌樹、中山 剛、井上 勲)	167